



やず町 議会だより

第55号

(平成30年11月)

もくじ	
■9月定例会	2
■一般質問(12人が質問)	5
■議案等議決結果	17
■議会報告会	18
■やす・トリムリトーク	20

トーク&カフェ

(議会報告会)

初めての試みで開催!

議会、議会だよりなどに関するご意見、ご要望をお寄せください。

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会

Tei.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641

9月 定例会

9月4日～9月21日

平成30年

第7回

ホッケー場整備

大紛糾!!

9月4日から21日まで、18日間の会期で平成30年9月議会定例会を開催した。

平成29年度決算は認定。議案審査において議案を付託された予算・決算に関する調査特別委員会で、議案第71号一般会計補正予算(第4号)をめぐり紛糾。採決を行わず、審査を打ち切った。結果最終日に、議案第71号は町長により取り下げられ、新たにホッケー場整備費を削除し災害復旧費を加えた、議案第94号として再提出され可決した。

条例改正

◇八頭町学校教育施設整備基金条例の制定

開校とした学校施設を、国庫補助事業完了後に10年以上経過後、有償で貸与する場合、残存価格以上の金額を学校施設整備とし積立てることで国庫納付金を要さなくなるため、残存価額相当分の基金積み立てをするもの。

【質疑】

教育設備、具体的には何か。

【答弁】

吉田町長
小中学校のエアコン設置と郡家東西小学校の大規模改修だ。

【質疑】

他の空き校舎も考慮しての事か、また、利用金額制限はあるか。

【答弁】

藪田教育長
可能性はある。金額制限はない。

◇税条例の一部改正

町内の中小企業事業者が先端設備など導入計画を作成し、生産販売活動に活用する機器装置などを平成33年3月31日までに整備した場合、固定資産税について、3か年条例で定める割合に軽減するもの。

◇過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

過疎地域内において、課税免除の対象に新たに農林水産物販売業を追加するもの。

契約

◇公共下水道長寿命化事業(郡家浄化センター汚泥処理施設更新)電気設備工事(その2)

請負契約の締結

○契約金額

5940万円

○契約の相手

鳥取電業株式会社
代表取締役

松田憲之

決算

◇平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定

○一般会計

・歳入総額

106億4544万円

・歳出総額

100億665万円

・翌年度繰越財源

5425万円

・実質収支額

5億8454万円

【主な歳入】

○町税

13億3036万円

(前年比2465万円増)

○地方交付税

52億8108万円

(前年比2億4863万円減)

【主な歳出】

○人件費

17億3330万円

(前年比4628万円減)

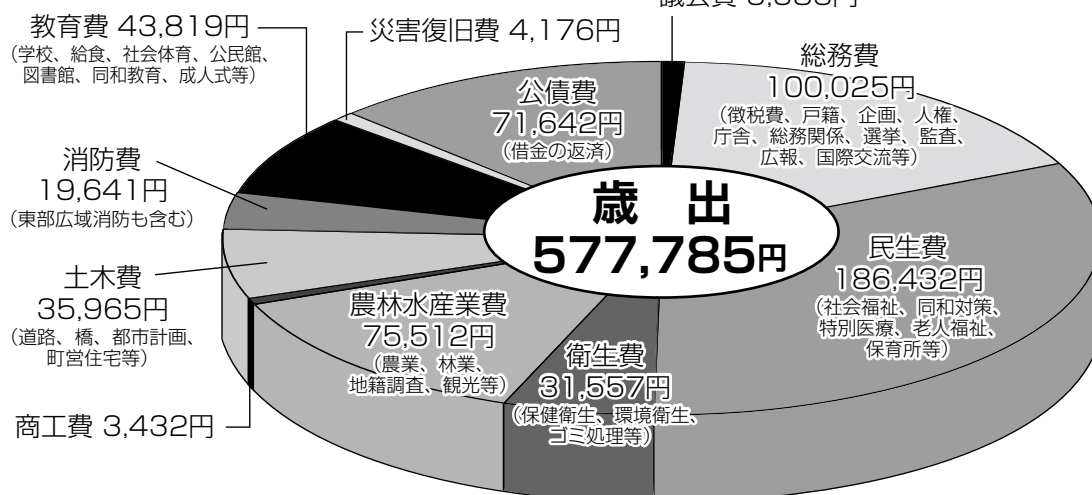
○民生費

32億2882万円

(前年比6億7215万円減)

町民一人当たりに使われたお金（一般会計）

平成30年3月31日現在の人口
17,319人



◇平成29年度国民健康保険特別会計ほか13会計決算をすべて認定。

決算審査意見

決算額や財産に係る資料の係数に誤りは認められず、適正に計上されている。

主な事業執行状況

○隼Lab.の整備、観光列車「昭和」の整備、八頭米「神兔」のブランド化、病児保育、入学祝い金の創設など、町政発展のための努力が見られる。

○収入未済金は全会計総額4億5131万円で、前年比2298万円減少し、一定の成果が見られる。

不納欠損処分

項目	金額
総額	711万円
一般会計	339万円
国民健康保険	324万円
介護保険	47万円

補正予算

◆平成30年度八頭町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ11億1230万円を追加し、120億5528万円とするもの。

【主な歳入】

○地方交付税	2億812万円
○国庫支出金	1億524万円
○県支出金	1億3945万円
○町債	1億6060万円

【主な歳出】

○社会福祉費	3342万円
○農工商費	6118万円
○教育総務費	2億1196万円

へ積立金
学校教育施設整備基金

○小学校費

2682万円
空調設備(エアコン)設置に係る経費

○災害復旧費

3億9660万円
7月上旬の大雨によるもの。

賛成討論

下田 敏夫

本議案は、災害復旧に対する補正に議案第71号の補正予算の内ホッケー場整備事業費を除いた予算を上程したもので、執行部が追加議案としたことは、正当であり賛成とする。



▲企業誘致予定の旧船岡中学校

平成30年 第5回臨時会

7月20日

町長提出議案4件を審議し、原案どおり可決した。

財産の貸付

旧大江小学校の土地及び建物を、ふなおか共生の里づくり推進協議会の構成員である有限会社ひよこカンパニー、代表取締役、小原利一郎氏に有償で貸し付けするもの。

貸付期間は、平成30年8月1日から10年間。賃料は、月額7万5000円で、契約締結から5年間は賃料を免除する。

※質疑と答弁、賛成と反対討論はトピックスNO7をご覧ください。

補正予算

◇平成30年度一般会計補正予算(第2号)

子ども自転車全国大会出場に伴う助成費用等に31万20000円を追加。

歳入・歳出予算の総額に変更はなし。予備費、32万20000円を減額。

◇平成30年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出の総額にそれぞれ1億2051万円を追加し、109億4297万円とするもの。

【主な歳入】

○町債 7510万円
○繰越金 4000万円
○県支出金 367万円

【主な歳出】

○災害復旧費 1億1920万円

人事

◇副町長の選任

副町長の選任に同意。岩見 一郎氏

任期は平成30年8月1日から平成34年7月31日まで。

平成30年

第6回臨時会

8月6日

議員発議

◇住民投票の請求

議案を審議し、賛成少数で否決。

※質疑と答弁、賛成と反対討論はトピックスNO7をご覧ください。



▲法面崩壊(麻生)

旧小学校活用事例「秋津野ガルテン」とCLT工法による「ぶろぼの」先進地に学ぶ

産業福祉常任委員会 調査視察報告

日程

平成30年7月23日(月)24日(火)

一、和歌山県田辺市の農業法人「株式会社秋津野」

○目的

旧秋津野小学校を利用した農家レストランや宿泊施設「秋津野ガルテン」

の取り組みを調査研修し本町の参考とする。

○内容

市は木造校舎を更地にし、住宅造成の予定であったが、「平成16年校舍利用検討委員会」を結成、地域で旧小学校の一部校舎を残し農家レストラン・宿泊施設を新築と決めた。

11集落に一口2万、1人50万まで出資を募り、489人、4180万円の資本金を集め「農業法人秋津野ガルテン」を開業した。

○まとめ

農業加工施設を地域が中心で設置、地域内の団体で秋津野塾を組織するなど、地域の連携や協働がある中で推進された事業だ。空き校舎がある本町にとって、大いに参考になる事例であった。

二、奈良市の社会福祉法人「ぶろぼの」

○目的

CLT(板材を直角に何層にも張り合わせた構造物)工法による5階建てビルで地元木材が使用され、法人が福祉作業所、食堂などの運営をしている。その実態を研修し参考とする。

○内容

1階が「ぶろぼの食堂」2階以降が福祉作業所で、利用者のステップアップに合わせた支援を実施している。パソコン

を利用した高度なスキルの仕事も受注。仕事はもらうだけでなく、作ることを。利用者が意欲を持つことを目指している。

○まとめ

「障がい者を保護する」視点より、「障がい者の自立」を目指す姿勢が作業所のあり方を考えさせられた研修だった。



▶高度なスキルを要する仕事を受注(ぶろぼの)

陳 情 の 審 査

○採択としたもの

件 名	提 出 者	理 由	備 考
治安維持法犠牲者に国家賠償を求める陳情書	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟鳥取県本部 会長 安田 睦美	陳情の趣旨を認めた	意見書提出

○不採択としたもの

件 名	提 出 者	理 由	備 考
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	移植ツーリズムを考える会 理事 井田 敏美	臓器移植の必要性は理解するも、人道的、専門的に現時点での意見書提出にはいたらない	

○継続審査としたもの

件 名	提 出 者	理 由	備 考
沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情	沖縄と連帯するとりりの会 共同代表 石田 正義 他2名	なお慎重審査を要する	

ここが聞きたい

一 般 質 問

12人が
一般質問
しました。

※質問や町長などの答弁は、質問した議員の原稿に基づき掲載することになっており坂根實豊議員の原稿は未提出であるため掲載していません。

テーマ	質問事項	質問者	頁
産業・観光	旧校舎活用（企業誘致）	小原	10
	地方創生を問う 観光政策と人口減少対策	小倉	13

教育・子育て	町営ホッケー場の整備	高橋	6
	町営ホッケー場建設	岡嶋	8
	児童・生徒の安全対策	岡嶋	8
	町営グラウンドホッケー場整備後、この施設を活用した教育的取り組みや本町のまちづくり	尾島	9
	学校給食の無償化	川西	11
	ホッケー場整備事業	森	14
	統合メリットとしての学力向上	栄田	16

防災・安全	河川床の掘削及び繁茂している立木の伐開	川西	11
	防災・減災	中村	12
	豪雨災害復旧	森	14

テーマ	質問事項	質問者	頁
まちづくり	熱中症予防対策	奥田	7
	移住・定住対策	奥田	7
	本町において、SDGs（持続可能な開発目標）を取り入れた今後のまちづくり	尾島	9
	本町の国際交流	小原	10
	住民投票条例	小原	10
	町税こと	坂根	
	本町の条例に明記されていない集落管理となっている旧公民館・集会所の取り壊しに対する補助	川西	11
	固定資産税の納付回数の見直し	川西	11
	いつまでも暮らしやすい八頭町	中村	12
	人権問題学習会	小倉	13
	人口減少時代の行政運営	下田	15
	税徴収の現状と税率UPの方策は	下田	15
	町税の減少対策	下田	15
	ふるさと納税	下田	15
	平成29年度決算	栄田	16
	町営バスの運行	栄田	16
	東郡家駅トイレ改修	栄田	16



高橋信一郎 議員

ホッケー場
整備

排水対策を第一の理由 との説明だが

町長/郡家水域の雨水対策は かねてからの課題

質問

郡家に変更した一番の理由として、住民説明会や行政懇談会で排水対策の目的が立ったと説明した。

都市計画法では認可を受けないと当該地域の開発行為は出来ない。排水路が完成しないと大きな構造物は造れないのでは。

答弁

吉田町長
私はそうも思っていない。

郡家地区の排水対策は以前から大きな課題で、透水性のアスファルトを下にする。

質問

住民説明会や行政懇談会に出席した人は、県から1億円の補助があると信じている。今回の補正予算を見ると5億5千万のすべてが地方債（借金）。県は後で支払うような会計処理の仕方をするのか。

県には条項はないと思う。本町が全額負担とな

る維持管理費と同じで、1億円は出ないのでは。

答弁

藪田教育長
県は債務負担行為を起し、後年度補填をするという話で進んでいる。

質問

オリンピックのキャンプ地は米原市がホスト地に決まった。交流も行われている。国体も47道府県順番ではない。15年後かは疑問だ。

答弁

藪田教育長
ホストタウンキャンプ地ではない。現段階では決まっていない。国体は2033年という段取りで進んで行く。

質問

経済効果として、企業の命名権で広告収入が得られるというが当てがあるのか。地元の大学にホッケー部がない。交渉して行く話は現実性に乏しいのでは。

答弁

藪田教育長
ネーミングライツは選択肢がある。必ずそれを行うのではない。地元の大学にホッケー部は、仮に国体があるならば、アプローチは必ず必要になってくる。

質問

ホッケー部は勝利至上主義になっていないか。義務教育下における中学生の部活にそれを持ち込むのはどうか。実態把握は。

答弁

藪田教育長
顧問と再三話をしたが、勝利至上主義に陥ることは承知していない。



▲ 水はけの悪いホッケー場予定地（郡家運動場）



奥田のぶよ 議員

熱中症予防対策

小中学校普通教室のエアコン設置は

教育長/同時に整備したい

質問

熱中症予防対策を問う。

① 高齢者世帯などの熱中症予防啓発は。

② 小中学校普通教室のエアコン設置状況は。

③ 部活動の配慮は。

④ 避難所エアコン設置は。

答弁

吉田町長

① 熱中症の危険がある時期の訪問の際、熱中症予防チラシやうちわを配布し、注意喚起を行っている。

④ 学校の体育館などはエアコンの設置がない。設置すると相当の費用だ。

今回、大型扇風機10台を予算計上した。冷風機などのリースも可能かと考えている。

答弁

藪田教育長

② 小学校4校の普通教室52教室のうち設置済みは5教室、中学校は19教室のうち設置済みは1教室だ。同時に整備したい。

③ 熱中症指標計や携帯型の熱中症計を活用し、環

境条件に配慮した指導に努めている。生徒の体調に配慮した指導を心がけている。

質問

小中学校のエアコン設置の計画はどうなるのか。

答弁

藪田教育長

早い段階で整備を進めていきたい。



▲移住定住専門員 諸岡若葉さん(八頭町移住定住相談センター 隼Lab.)

移住定住

移住定住センターと連携して進めては

町長/密に対応したい

質問

移住定住対策を問う。

① 平成27、28、29年度の移住者の実績は。

② 空き家バンクの取り組みは。

③ 7月17日に開設した移住定住センターは。

④ 移住定住専門員は。

答弁

吉田町長

① 県外からの移住定住者は、27年度46世帯59人、28年度39世帯48人、29年度28世帯51人。子育て世代の移住が増加している。

② 登録件数は10件だ。

③ 隼Lab. 2階に設置した。

④ 西栗倉村の地域おこし企業でプログラム開発を担当していた方でSNSの情報発信、空き家ツ

質問

空き家バンクの情報をホームページにアップできないか。

答弁

吉田町長

検討し、了承がとれた場合、密に対応したい。



岡嶋 正広 議員

ホッケー場整備

部活動中心の使用施設としての必要性は

町長/子どものために必要だ

【質問】

①主に子ども達の部活動中心の使用施設としての必要性は。
②郡家地域の排水対策に目処がついたという意味は。
③人工芝貼り替え費用及び維持管理費は。
④きらめき祭りの開催は。
⑤中学校で新たな部創設の要望はあるか。

【答弁】

吉田町長

①思う存分練習できる施設で日本の頂点に立たせてやりたい。子どものために必要な施設と考える。
②平成31年度に基本設計、実施設計、32年度より工事着手の計画。
③概ね15年以内で貼り替えが想定され、約1億5000万円程度必要だ。行財政運営を見据えた上での計画である。
維持管理費は年間100万円見込んでいる。
④人工芝に影響がないように対応し、今後も郡家運動場で開催したい。

【質問】

⑤現在のところない。
6人制人工芝コートと、真砂土サブコートの併設で十分ではないか。

【答弁】

吉田町長

将来的なことも考えておく必要がある。



▲小学生の朝の通学風景

【質問】

本町では、通学路及び学校施設内の危険構造物の点検は行なったのか。その結果はどのような状況か。

【答弁】

荻田教育長

児童生徒の保護者へ通学路のブロック塀調査を依頼し、同時に教育委員会職員で調査している。町内通学路に62か所のブロック塀がある。県を通じて建築士会に調査依頼している。

【質問】

7月6日、大雨警報の中で、町内の小中学校は通常授業を決定。この時、児童生徒の通学時の安全は確保されていたのか。

【答弁】

荻田教育長

このたび小中学校の空調設備設計委託料を予算計上した。

【質問】

ホッケー場建設よりも、小中学校の空調設備設置を優先させるべきでは。

【答弁】

荻田教育長

当日午前5時前に担当校長が川の水位確認、通学路の巡視をし、雨量予報も強い雨は9時台のみで、終日弱い雨又は雨の予報。安全確保可能と判断した。

児童・生徒の安全対策

ブロック塀など危険構造物の点検は
教育長／建築士会に
調査依頼している



尾島 勲 議員

町営ホッケー場

活用した今後の町づくりは

町長/本町の新たな活性化につなげたい
教育長/子どもたちの大きな力となる

質問

本町の今後の町づくりにどのように役立てるのか、手段や展望を伺う。

答弁

吉田町長

整備は子どもたちへの将来の投資だ。

交流によるまちづくりを進め「ホッケーの町・八頭町」の新たな活性化につなげたい。

答弁

藪田教育長

仲間と協力する、困難に立ち向かう勇氣を持つ、努力する楽しさを学ぶことが出来る人間形成、協調性を学ぶ場として捉え、子どもたちの大きな力となると考える。

質問

国はSDGsを活用し地方自治体ごとの優先課題に焦点を当て、問題解決に役立てるツールとすることを推奨している。本町の今後の展開は。

答弁

吉田町長

①本町の地理的、気候的特性を活かし農林水産業の振興を図ることが、農山村の活性化につながる。新たな業態の地域ビジネスの展開を推進する。
②鳥取県東部地域公共交通網形成計画を平成29年3月に策定し、バスと若桜鉄道の連携事業などの取り組みを進めている。
③本年4月に第3期八頭町地球温暖化対策実行計画を策定し、省エネ対策に取り組んでいる。

SDGs(持続可能な開発目標)

今後の展開は

町長/総合計画に取り入れたい

太陽光発電・太陽熱利用機器・まきストーブ・定置用蓄電池などの助成を行っている。

④26年度に策定した「八頭町農業ビジョン」を元に、持続可能な農業を目指している。

林業成長産業化は、国の林業成長産業化地域創出モデル事業へ申請し、この5月に選定済み。
千代川流域林業成長産業化推進協議会を設立し、今後5年で素材生産量10万m³から20万m³、林業新規就農者数50人増加を目標に、東部地域で連携を図り事業推進予定だ。
⑤SDGsを知らない町民にまず知ってもらい行動できるように、広報誌やホームページ、CATVなどでの啓発に努める。

質問

第2次八頭町総合計画の、32年～36年までの後期5年の基本計画にSDGsを取り入れ、持続可能な本町を創っては。

答弁

吉田町長

取り入れる部分があれば当然取り入れる。



▲持続可能な自治体へ！（役場本庁舎）

行政手続き

疑問に思うが

町長/認識はない



小原 徹也 議員

質問

①北岡本店の事業の住民説明会を聞いて、進出企業の本町へのメリットがわからない。なぜ連結子会社なのか。
②連結子会社の意味を知らずに、企業誘致したら大変なことになるが。
③旧大江小学校の賃借料は、月に7万5000円、5年間でいくらだ。ほぼ建物の維持管理費。本町のメリットは。
④旧船岡中学校の体育館はバスの駐車場・校庭は保育所・校舎は酒造工場だ。切り売りされ、全く計画性がないと思うが。
⑤6月の全員協議会で指摘した旧大江小学校の「校舎の補助金返還」は、回答もない。
議案で旧隼・大江小学校合わせて2億円弱の補助金返還だ。基金は、補助金返還2億円の苦肉の策では。
行政運営者の町長が、税金である財政に、2億円の穴を空けたのでは。
⑥校舎を無償で貸せば補助金返還しなくてよい。

有償貸付にしたため2億円の基金が必要となった。そもそも町長の判断ミスでは。
⑦連結決算・補助金返還を知らない町長が、この企業なら有利になるなどの判断をせず、「中小企業診断士」などの専門家のアドバイスを受けなかったのか。

答弁

吉田町長

①空き校舎の有効活用・雇用の確保につながる分社と聞いている。
②連結決算で本町に、直接ダメージはないと思う。
③行政として有効に活用してもらえば、当然、話をするのが今までの流れだ。
④きちんとした計画が、難しいのが今の姿だ。
⑤私はそのように受けとっていない。
⑥2億円の穴を空けたという認識はない。
⑦確かにそうかもしれない。企業の経営状況などもみて協議している。



▲どうなる旧船岡中学校

国際交流

今後の検討は

町長/将来的な展望を持つて取り組む

質問

国際交流は韓国との交流だが、従軍慰安婦の問題など次々と国を挙げて、日本に謝罪と賠償を求めている。果たして人的交流などできるのか。

親日で友好的な、台湾との交流も考えてみては。

答弁

吉田町長

慰安婦の問題は承知している。台湾は、将来的

な展望をもって取り組む必要がある。

※その他の質問
住民投票条例について



川西 聡 議員

学校給食費

無償化の実現は

町長/値する項目だ

教育長/無償化の流れを否定できない

質問

文部科学省は、7月に公立小学校の給食無償化に関する初めての全国調査結果を公表した。食育と定住促進を進める自治体の増加に政府が看過できなくなり始めた。

調査は、全国1740市町村の教育委員会を対象に実施。小中学校のいずれも無償化していたのは76市町村、小学校のみが4市町村、中学校のみは2町だった。

無償化している82市町村に効果を聞くと、メリットは「保護者の負担軽減」「未納への対応が減る（本町は未納ゼロ）」、デメリットは「子どもがいる家庭ばかりではなく住民の理解が得られなかった」などだった。

無償化の実現を子育て支援と定住促進の観点で町長に、食育と保護者の負担軽減の観点で教育長に質問する。

答弁

吉田町長
平成28年度から、第2

子以降の無償化・時間外保育の延長など充実した

保育環境の整備、子育て世代を対象の住宅リフォーム・新築住宅の固定資産税の一部助成などの定住促進を図っている。

無償化は、毎年6500万円の一般財源が必要であり、今後は、他の町村はもとより国や県の動向に注視していきたい。

答弁

藪田教育長

無償化により食育への関心の低下や無償化を当然とする意識の高まりも懸念される。

しかし、無償化の流れを否定するものではない。保護者負担も非常に軽減され、喜ばれる方もたくさんいると思う。

質問

保護者の負担は、修学旅行や卒業アルバム、積立金・児童生徒会費・PTA会費・教材費・部活動費・学校への諸納付金などがあり、加えて給食の負担金である。

しかし、憲法26条には「義務教育は無償とする」とある。政治がいかにそこへ近づいていくかだ。やはり、給食費は無償化に値しないか。

答弁

吉田町長

原点は憲法にあり、無償化に値する項目だ。今後の大きな課題だろう。

質問

財源の県負担を強く要求すべきだ。

答弁

吉田町長

県の助成があれば考え方は変わってくる。

※その他の質問

●河川床の掘削及び繁茂している立木の伐開について

いて

●本町の条例に明記されていない集落管理となっている旧公民館・集会所の取り壊しに対する補助について

●固定資産税の納付回数に見直しについて



▲今日も児童・生徒へ給食を届けに出発（学校給食共同調理場）

防災・減災

未曾有の大災害は

町長/日頃の防災意識の高揚と 自助が一番だ



中村 美鈴 議員

質問

平成30年7月初旬に西日本豪雨災害や、北海道で震度7の震災があり未曾有の大災害となった。

①避難情報の判断基準は。

②この度の本町の避難勧告時の取り組みは。避難所には何人来たのか。

③町民の安全で迅速な避難対応策は。

答弁

吉田町長

①河川の氾濫は県の水位情報を基に、水位上昇速度、降雨量の変化状況、気象状況なども含め判断した。土砂災害は警戒情報を基に、気象情報などで判断した。

②池田集落付近に避難勧告を発令し、指定避難所を3か所開設し14人だ。

上野上集落付近に避難準備、高齢者等避難開始情報を発令、避難所4か所を開設し、その後大雨特別警報が発表され、避難所7か所の合計は149人だ。

③支え愛マップの地図を

作成し活用を促進する。

質問

国交省によると4観測所で避難判断水位を超過し戦後2位とのことだ。

本町の床下浸水の家を見舞ったり、本町の避難場所での迅速な対応を町民がほめていた。しかし、洋式トイレの不足を指摘されたが。

答弁

吉田町長

洋式トイレは必要だ。年次計画で対応したい。温度差はあるが、日頃の防災意識の高揚を持ってもらう自助が一番だ。



▲みんなで楽しくゆるやか体操～1.2.3

健康づくり計画

いつまでも暮らしやすい

八頭町は

町長/地域全体で健康づくりに
取り組むことが大事だ

質問

年々平均寿命は延びている。75歳を超えたのは1986年頃だ。本町の取り組みを問う。

①25年策定の健康づくり

計画である「健康や21」とまちづくり委員会との検証は。

②介護予防。

③認知症予防。

答弁

吉田町長

①百歳体操、健康教室などを5回実施した。

②はつらつ教室、介護予防教室を実施し6ヵ月で40人参加があり、体の改善があった。また体操教室や水中運動教室があり体操後の茶話会で情報交換などの交流がある。

③予防検診、予防教室だ。

質問

ゆるやか体操に初参加したが、20人ほどで楽しく元気になったとの声があった。本町が暮らしやすい町になっている実感は。

答弁

吉田町長

実感としてある。



小倉 一博 議員

地方創生

人口減少と若年層の対策は

町長/町の担い手になってもらいたい

質問

地方創生の人口減少対策や観光政策を聞く。

①若年層の就業場所の確保や就業機会の提供を伺う。

②住民アンケートで宅地造成の何を尋ねるのか。

③観光のランドデザインは。

答弁

吉田町長

①1市4町が連携した移住・定住の取り組み、県の移住定住施策、鳥取就職フェア、企業見学ツアー、ふるさと鳥取県定住機構と連携をしたI・J・Uターンの促進など。農業では就農希望者の支援、空き家入居のリフォーム支援、新築住宅の固定資産税軽減等定住促進を図っている。

②私都、八東、船岡地域において、居住の意向や宅地造成の必要性、取得の意思などを調査今後の住宅需要を把握したい。

③社団法人「麒麟のまち観光局」を中心とした観光資源のブラッシュアップ、食に関するコンテンツ

ツの開発、地域交通網の検討、おもてなし文化の醸成について事業実施している。

若桜鉄道「昭和」の旅
行商品の企画、町内イベントへの参加など、近隣自治体と連携しながら展開する。

質問

若い人が就学就職の機会に、なぜ地元を選ばなかったのかを調査する必要があるが。

答弁

藪田教育長

調査は難しい。郷土を愛し、この町を担ってほしいという思いで教育ビジョンの改定も行った。

人権問題 学習会

法の周知は

町長/目的や背景など

周知に努める

質問

年1回全集落で開催している人権問題学習会の取り組みを問う。

①参加しない人へのアプローチは。

②3つの差別解消法の周知は。

③学校教育、社会教育は。

答弁

藪田教育長

③発達段階に応じた計画を立て、児童生徒の能力発揮、自己実現、人権尊重社会の担い手としての

自覚、多様な人々と豊かにつながることを、教育活動の全体を通して指導している。

答弁

吉田町長

①学習会の意味や継続する大切さを啓発していく。若い人にも参加してもらいたい。例えば自警団とか老人会といったグループ単位の学習会も結構だ。

②法の背景と法の目的を、学習会や講演会などの機会を捉え周知する。



▲子どもたちの植樹（大江）

災害対応

安全対策は

町長/パトロールや点検を実施している



森 亜紀子 議員



▲豪雨の八東川

質問

7月の集中豪雨で本町で多くの被害が発生した。
①避難所の状況。
②災害対応の優先順位。
③日ごろの山林・道路・河川の点検。
④豪雨時の避難勧告や情報の周知。

答弁

吉田町長
①5日に自主避難所を3か所、指定避難所を3か所開設した。6日は自主避難所を3か所、指定避難所を4か所開設した。

⑤豪雨災害の訓練を今後他の地域に広げること。
⑥防災補助制度の情報。

質問

ホッケー場整備への町民の理解を問う。
①最近の取り組み。
②昨年8月に五輪キャンプ地誘致を表明したが具体的な実践。
③キャンプ地誘致推進実行委員会とは。
④誘致を目指すニュージーランドとの協議。
⑤2巡目の国体開催は未確定だが。
⑥部活動に見合う大きさの検討。
⑦住民投票請求の対応。

答弁

藪田教育長
①昨年からスポーツ指導

員を配置し、八東小学校でホッケークラブ、船岡小学校でホッケー教室を開催している。
②ニュージーランドのイアンフランシスCEOと県がメールで条件などを協議している。
③今年度中に立ち上げ、キャンプ地誘致やその後大会誘致も協議したい。
④メールのやり取りだ。
⑤平井知事は2033年に国体の大トリを務めるのでもいいと述べた。
⑥2巡目の国体、小中学校の全国規模の大会を誘致する場合は必要だ。

質問

可能性も少ない中、整備を諦める勇気は。

答弁

藪田教育長
やめるのはいつでもできる。

ホッケー場整備

諦める勇気は

教育長／やめるのはいつでもできる

②その都度連絡のあったものから現場確認を行っている。
③日ごろから道路際の樹木の様子も含めたパト

ロールや、大雨・強風の時には重点路線を定め点検している。河川の護岸は県が管理し異常気象の点検をしている。

④緊急時は防災無線だ。
⑤豪雨災害を対象にした訓練をお願いしたい。
⑥年2回の区長会だ。



下田 敏夫 議員

人口減少社会

サービスの低下は

町長/生産年齢人口の減少に 歯止めをかける

質問

人口減少による行政サービスの低下は。

答弁

吉田町長

人口減少社会が与える影響と課題として
①行政サービス水準の低下。
②生活サービスの縮小。
③公共交通の衰退。
④地域コミュニティの機能低下。
⑤空き家等の増加。
⑥老朽化する公共施設の維持・更新などが課題だ。本町として、総合戦略を確実に実施することにより町の特性を生かしたまちづくりを推進、子育て世代の転入促進により、生産年齢人口の減少に歯止めをかけ、行政サービスが低下しないよう取り組む。

質問

ふるさと納税の現状と課題は。

答弁

吉田町長

ふるさと納税平成27年度1825万円余、28年度1698万円余、29年度1496万円余、と減少傾向だ。本年度は、7月末時点で796万円余で昨年同期に比べ115万円余の増加だ。

質問

納税者を優待する、株主制度の導入は。

答弁

吉田町長

現行のふるさと納税制度より本町と寄付者の距離感が近くあり、また、他の自治体がほとんど実施していない制度を活用することにより、人目を

ふるさと納税

現状と課題は

町長/昨年同期に比べ

115万円余りの増加だ



▲ふるさと納税パンフレット

引く効果があると考え
る。
従来通りのやり方で

は、人の目に触れる機会
が減少し、ふるさと納税
の寄付も減少する。株主

質問

サラリーマンにふるさと納税を進める「ふるさとプレミアム」というサイトがあるが。

答弁

吉田町長
調査してみる。

※その他の質問

●税徴収の現状と税率UPの方策は

●町税の減少対策

制度も含め、さまざまな方法を調査・検討し取り入れ本町をPRするため、物産品など返礼品のより効果的なプレゼン方法などを検討していく。



栄田 秀之 議員

決算

平成29年度数値の分析結果は

町長/自主財源の確保だ

質問

自治体の財政は、決算時の各種数値に表されて、その数値によって財政分析される。

①経常収支比率及び前年対比は。

②実質公債費比率の前年対比及び起債余力は。

③町税徴収率及び滞納繰越分の徴収は。

④財政力指数及び前年対比は。

⑤自主財源比率及び前年対比は。

⑥義務的経費の人員費及びその構成比は。

答弁

吉田町長

- ① 85・7％で前年より0・4ポイント増加。
- ② 8・2％で0・4ポイント増加。起債余力は健全で安定。
- ③ 現年分98・96％で前年より0・26ポイント上昇。滞納繰越分は前年より0・77ポイント上昇。
- ④ 0・232で前年より0・003ポイント減少。
- ⑤ 21・9％で前年より2・4ポイント増加。
- ⑥ 人員費は17億3300

質問

町税は、前年度より2400万円増加しているが、徴収率は県内類似団体より低い。今後の自主財源の確保は。

答弁

吉田町長

交付税の削減で自主財源の確保は非常に大事だ。

町営バス

運行に周回コースを設けては

町長/検討したい

質問

利用者の拡大を図るため、また免許証の返納者対応として問う。

①バスの周回コースを新しく設けてはどうか。

郡家駅出発↓役場↓J

A↓中央公民館↓下坂↓

大坪↓延命寺↓山上↓上

峰寺↓下峰寺↓井古↓稲

荷↓堀越↓門尾↓下門尾

↓保健センター↓福本↓

郡家駅の周回コース。

②周回コース6か月間の試験運転は。

③既存のバス路線のない地域は、今まで通りタクシー利用に頼るのか。

答弁

吉田町長

①バスの台数・運転手の確保など十分な検討が必要と考える。

②路線の新設・変更は運輸局との協議も必要であり、仮に試運転を実施するととしても来年度からだ。

③地元の要望を聞き、検討する必要がある。

※その他の質問

●東郡家駅トイレ改修について

●統合メリットとしての学力の向上について



▲利用の拡大が期待されるさんさんバス

議案等議決結果 (第5回、第6回臨時会・第7回定例会)

○全会一致で可決・承認・認定・採択したもの

議案等 番 号	件 名	議案等 番 号	件 名
第5回臨時会			
62	平成30年度八頭町一般会計補正予算（第2号）	64	平成30年度八頭町一般会計補正予算（第3号）
第7回定例会			
65	公共下水道長寿命化事業（郡家浄化センター汚泥処理施設更新）電気設備工事（その2）請負契約の締結	81	平成29年度八頭町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定
撤回	議案第71号平成30年度八頭町一般会計補正予算（第4号）撤回の件	82	平成29年度八頭町住宅資金特別会計歳入歳出決算の認定
67	八頭町税条例の一部改正	83	平成29年度八頭町公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定
68	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	84	平成29年度八頭町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定
69	八頭町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	86	平成29年度八頭町宅地造成特別会計歳入歳出決算の認定
70	町道の路線認定	87	平成29年度八頭町墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定
72	平成30年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	89	平成29年度八頭町上私都財産区特別会計歳入歳出決算の認定
73	平成30年度八頭町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	90	平成29年度八頭町市場、覚王寺財産区特別会計歳入歳出決算の認定
74	平成30年度八頭町住宅資金特別会計補正予算（第1号）	91	平成29年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計歳入歳出決算の認定
75	平成30年度八頭町公共下水道特別会計補正予算（第1号）	92	平成29年度八頭町篠波財産区特別会計歳入歳出決算の認定
76	平成30年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	93	平成29年度八頭町大江財産区特別会計歳入歳出決算の認定
77	平成30年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第1号）	陳情5	治安維持法犠牲者に国家賠償を求める陳情書
78	平成30年度八頭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	発議5	「治安維持法犠牲者国家賠償法」（仮称）の制定を求める意見書の提出

○賛否の分かれたもの

議案等 番 号	議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件 名	奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	柴田 秀之	高橋信一郎	下田 敏夫	尾島 勲	
第5回臨時会															
61	財産の貸付（旧大江小学校）	○	×	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	可決
63	副町長の選任につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	同意
動議	ホッケー場の整備事業の緊急質問	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	同意
第6回臨時会															
発議4	住民投票の請求（実施）	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	否決
第7回定例会															
66	八頭町学校教育施設整備基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
79	平成29年度八頭町一般会計歳入歳出決算の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
80	平成29年度八頭町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
85	平成29年度八頭町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
88	平成29年度八頭町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
陳情3	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
陳情4	沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出の陳情	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
94	平成30年度八頭町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決

賛成、同意「○」、反対「×」で記載。

議案の採決は、谷本正敏議長を除く13人で行う。

Talk & cafe (トークアンドカフェ)を 開催しました。



平成30年8月26日(日)八頭町議会報告会Talk&café (トーク&カフェ)を開催しました。

参加者は議員を合わせて35人でした。第1部は本会議場で常任委員会の活動報告を行い、研修室へ移動して第2部は5グループに分かれて、トーク&カフェを行いました。

トーク&カフェでは町政に対する貴重なご意見を多数もらいました。今後の議会、議員活動に活かしてまいります。

第1部 常任委員会報告 13:30～14:10

普段、一般の方は議場の傍聴席への案内となりますが、議会を身近に感じてもらえるように本会議の議場を使用した報告会としました。谷本正敏議長のあいさつに始まり、高橋信一郎総務教育常任委員長が平成29年度の調査研修報告を、小倉一博産業福祉常任委員長が平成30年度の調査研修報告を行いました。



産業福祉常任委員会報告



総務教育常任委員会報告

第2部 トーク&カフェ 14:30～15:50

第2部では4つのテーマについて6～7人で5グループに分かれ、意見を付箋に書き、グループで共有し、問題点、解決策など様々な視点からの意見交換を行いました。最後はグループで話し合った結果を代表者に説明してもらいました。



第2部



第2部発表

テーマ

1. だれもが利用しやすい公共交通は
2. どうやったら買い物しやすくなるの
3. 八頭町の観光資源を考える
- 4、5. 農業後継者をどう育てるか

1 グループ

買い物、病院通い
中心のダイヤ経路
ができないか

公共交通



利用状況に応じた活用
方法ができないか

若桜鉄道はどれくらい
の乗客があるの？

2 グループ

さんさんバスは将来
デマンド化が必要では

買い物



廃校舎を利用した
直売所はどうか

コンビニを
つくって欲しい

3 グループ

八頭町に長く居て
過ごしてもらうには

観光資源



歩くコースや自転車コース
などを作成しては

道の駅、物産館、観光農園、
ジビエ、酒づくり、、、

4 グループ

担い手同士のネット
ワークをつくっては

農業



相談体制、情報提供、
経営サポートを

県外への積極的な
農業PRを

5 グループ

県外流失の若者
が増えた

農業



いいもの作っても
売り方がわからない

機械の値段が高い！

今回は初の試みでの報告会を開催しました。ご参加いただいた方からは、身近に対話でき諸課題を共有することができたと感想をもらいました。今後もこのような機会を設け、皆様のご意見をもらいながら議会報告会がより充実していけるよう努めてまいります。

やず・ドリーム リレートーク

地域の活性化にひと役！

延命寺 畑先 和郎
はたき かつろう



自己紹介をお願いします。

平成19年に退職し、アスパラガス栽培を始めて今年で10年経過し、70歳になりました。趣味はカラオケ、一杯やりながらギターの弾くのが至福のひと時です。

アスパラガス栽培に取り組もうと思ったきっかけは。

近隣の野菜生産者の方から、他の野菜と違い一回定植したら10年以上収穫可能な永年作物で、半年間毎月収入が得られると聞き迷わず決めました。

やりがいと今現在の問題点は。

現在21アールを栽培していますが、栽培に当たり特徴として、生産者自身の栽培管理次第でかなりの品質・収穫量に差が付きます。病気については他の農作物と一緒に、特に長雨・高温多湿に注意が必要で、病気発生の原因や回避方法として、ハウスによる半促成栽培が勧めです。

アスパラガス栽培を通じての今後の夢は。

食育教育の一環として、積極的にイベントなどに参加して消費拡大を考えています。現在県東部ではブランド化を目指し、生産者の募集や栽培面積の拡大を図っています。

全体として高齢化が進んでいます。

私は年齢を気にせず今後も頑張っていきたいと思います。

行政からの、今以上の支援検討をお願いします。



定例会本会議をケーブルテレビで中継しています

議会の傍聴をしてみませんか



TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641 (議会事務局)

八頭町議会

検索

編集後記

この夏は早々に梅雨が明け、明けると同時に猛暑が続く、7月上旬には線状降水帯による大雨となり災害が発生しました。その後また猛暑が続く、7月から9月にかけて複数の台風が日本列島に上陸し、各地に死者を含む大きな被害をもたらしました。

中でも12号は観測史上初めて、東から西へ駆け抜けていく想定外のルートをたどりました。

議会に目を向けてみると、6月から9月に開催された定例会や臨時会で、異常気象とは言えないまでも、様々な出来事が発生しました。

議会だよりを編集しながらこの夏を振り返った次第です。

(記：尾島 勲)

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 奥田のぶよ |
| 副委員長 | 小原 徹也 |
| 委員 | 川西 聡 |
| 委員 | 小林 久幸 |
| 委員 | 森 亜紀子 |
| 委員 | 中村 美鈴 |
| 委員 | 尾島 勲 |



みんなで考えよう 地球環境!